

2019年  
12月21日(土)

受付 13:00

開演 13:30(終了予定 17:30)

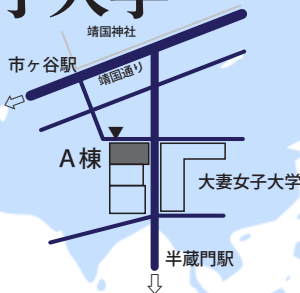
会場 大妻女子大学

A棟150教室(300席)

〒102-8357 東京都

千代田区三番町12番地

入場無料



今福龍太 (いまふく・りゅうた)

1955年生まれ。文化人類学者・東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授。『クレオール主義』(1991)、『群島 - 世界論』(2008)、『薄墨色の文法』(2011)、『ヘンリー・ソロー 野生の学舎』(2016、読売文学賞受賞) 等著作多数。近著に『宮沢賢治 デクノボーの叢知』(新潮選書)。また、山尾三省『新版 野の道 - 宮沢賢治という夢を歩く』にも解説を寄せている。

管啓次郎 (すが・けいじろう)

1958年生まれ。比較文学研究・詩人・明治大学理工学部教授。詩集『数と夕方』(2017)、『犬探し/犬のパピルス』(2019)、エッセイ『斜線の旅』(2010、読売文学賞受賞) 他、翻訳エドゥアール・グリッサン『第四世紀』(2019)、東日本大震災後、古川日出男等と「朗読劇『銀河鉄道の夜』」を上演、『ミグラード 朗読劇『銀河鉄道の夜』』(2013)。

岡村民夫 (おかむら・たみお)

1961年生まれ。表象文化論・近代日本文学研究・法政大学国際文化学部教授・四季派学会理事。『旅するニージェリゾートの哲学』(2004)、『イーハトーブ温泉学』(2008、宮沢賢治賞奨励賞)、『柳田国男のスイス 渡欧体験と一国民俗学』(2013)、『立原道造故郷を建てる詩人』(2018)。当学会副代表理事。

宮沢賢治学会  
イーハトーブセンター  
(花巻) 0198-31-2116

冬季セミナー in 東京

宮沢賢治学会イーハトーブセンター

# 今、宮沢賢治を世界に解き放つ

講演 今福龍太

「デクノボー 無主の希望」

鼎談

今福龍太 +  
管啓次郎 +  
岡村民夫

宮沢賢治没後 87 年、世界をめぐる問題は刻々と変化し続けています。その中で、作品を読み直すことの意義を、そして、今求められている新しい宮沢賢治像を世界的視野の中で問い直していきたいものです。そこで、本冬季セミナーでは、今秋、自身初の賢治論である、「宮沢賢治 デクノボーの叢知」を上梓された文化人類学者・今福龍太氏の講演を中心に、詩人・研究者の管啓次郎氏、学会副代表・岡村民夫氏による鼎談で、文化人類学や比較文学・環境文学の視点から、現在の世界文学に宮沢賢治はどう位置づけられるかに迫ります！乞うご期待！どなたもどうぞお越し下さい。けっしてご遠慮はありません。

※質疑応答に際しては、スマホ等を使用した質問集計サービスを併用する予定です。

